

## 第2次海南市空家等対策計画（案）に対する意見募集実施結果

「第2次海南市空家等対策計画」を策定するにあたり、広く市民の皆様からご意見をお聴きするため、令和4年1月21日（金）から令和4年2月10日（木）までパブリックコメントを実施した結果は、下記のとおりです。

### 1. 市民からの意見数

・持参によるもの	2通	・郵送によるもの	0通
・ファックスによるもの	0通	・電子メールによるもの	0通

### 2. 提出された意見主旨とそれに対する市の考え方

#### ① 空家撤去後の跡地について

空家が次々と解体され空き地や駐車場となっている所も多い。災害時に備え、各地域（地区ごと）にドクターヘリの離発着やレスキュー隊の活動拠点としての利用を検討されては。

#### 市の考え

ヘリの離発着やレスキュー隊の活動拠点については、相当の広さが必要となること、特に、ヘリの離発着には、高い建物や樹木など周辺の障害物の影響も考慮する必要があるため、個々の空家撤去後の跡地を利用することは難しいと考えます。

市としましても、空家撤去後の跡地が十分に活用されていないことは、大きな課題として認識しており、まずは、まちの活性化に向け、住宅の新築など利活用が促進されることが望ましいと考え、まちづくりにおいて総合的な取組を進めています。

#### ② 利活用の促進について

ここ2年余りの間に、新型コロナウイルスの影響を受け、住宅事情のみならず生活環境が様変わりした。従来と違い、テレワークが多くなり移住先の通信環境が十分整備されているか、共稼ぎが多いため保育所の待機児童の状況がどうなのか、また、学校の教育も大きく変わりつつある。

それらと併せて、家族が不自由しない交通機関の整備や医療体制、介護等、生活環境が整っているか等、移住先での生活を改めて考え直す必要に迫られており、迎える側も、これに対する準備を怠らないため新しいニーズの調査が大切と考えることから、「利活用の促進」の「その他（22ページ）」の項目に「移住希望者が考える、移住において重要なこと」のアンケート調査を、大阪中心に近畿地方の都市部で実施を追加されてはどうか。

#### 市の考え

空家対策においては、計画案にも記載のとおり、移住・定住施策との連携は非常に重要であると考えています。そのようなことから、これまでも大阪や首都圏での移住希望者向けの相談会等の場で移住希望者の生の声を聴き、移住・定住促進に向け取組を進めてきました。

ご提案のアンケートではありますが、国や県でも類似のアンケートを実施していますので、これらも参考としながら、引き続き、様々な機会を利用して、最新のニーズの把握に努めたいと考えています。